

令和6年度 実践研究事業
(そにとキャンプ・出会いのキャンプ)

- [主 催] 国立曾爾青少年自然の家
- [後 援] 奈良県教育委員会、名張市教育委員会、
宇陀市教育委員会
- [期 日] 令和6年6月1日(土)～6月2日(日)
- [対 象 者] 発達に特性がある児童生徒や不登校など集団(学校)生活に困り感のある小学校4年生～中学校1年生の児童生徒とその保護者
- [参加/募集] 児童11名／12名・保護者13名(きょうだい含)
- [講 師] 吉田昌功氏(五條市立五條小学校)、
横道 誠氏(京都府立大学准教授)
- [担 当] 三木智拓(主任企画指導専門職)・坂本純一・森岡亮平(企画指導専門職)・大向満(主幹兼事業推進係長)・百田恵美(看護師)



1 趣 旨

曾爾の雄大な自然の中で、初めての人、自然、体験との出会いを楽しみ、年間のキャンプへの期待と展望をもてるよう自分の思いのままに活動するプログラムを中心とする。(森遊び)保護者に対しては、当事者や支援者の講義やワークショップを体験するだけでなく、交流の機会を十分に設定し繋がりを育む。

2 ねらい

- ① 新たな出会い(人、自然、体験)に慣れ、それぞれのペースで楽しむ。
- ② 夏のキャンプに、(家族がいなくても)参加したいという意欲と期待を育む。
- ③ 困り感をもつ保護者が繋がり、学びを深め、我が子を多面的に理解する一助とする。

3 プログラム展開

6/1 (土)	10:45 受付	11:00 始まりの会	12:00 昼食	14:00 森の自由遊び	17:00 夕食・入浴	17:45 入浴	19:00 星空散歩	21:00 就寝
6/2 (日)	6:30 起床	7:30 朝食	9:30 そにソーヤ守(曾爾高原でPA)	13:00 ふりかえり	14:00 終わりの会	14:30 解散		

4 活動の様子



5 まとめ(子供及び保護者アンケート・担当者の所感)

- ・子どもからは、「初めて出会ったことがよかった」、「ゆっくりと冒険できた」、「会ったことのない人とも仲良く、一緒にがんばれた」など、自然や人との「出会い」を肯定的に捉え、自身の頑張りに満足感をもつ感想がみられた。
- ・保護者からは、「同じ悩みを抱える人と知り合えて嬉しい」、「時間にゆとりがあって、参加者同士たくさん話せた」、「ディスカッションがとても面白く、ためになった」等、子ども同様、自然とゆったりした時間の中で新たな出会いを味わい、研鑽を深める感想がみられた。